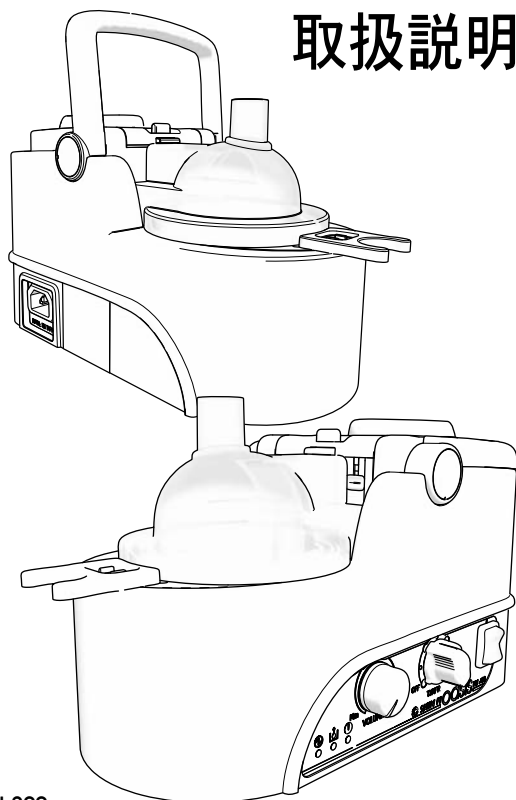


2015年11月版

超音波ネブライザー COMFORT

oasis

取扱説明書



KU-200

もくじ

必ずお読みください

安全上のご注意 1 - 5

製品について

製品の特長 6

製品の構成 7

各部の名称 8

ご使用方法

吸入前の準備 9 - 10

吸入方法 11 - 12

お手入れ

お手入れ 13 - 14

煮沸消毒 15 - 16

薬液消毒 17 - 18

故障かな？と思われたときは

修理をご依頼される前に 19 - 20

ヒューズの交換方法 21

知っておいていただきたいこと

記号について/廃棄について 22

点検チェックリスト 23 - 24

仕様/別売品一覧 25 - 26

届出番号 11B1X00009000002

この度は、『超音波ネブライザー COMFORT oasis』をお買い上げいただきありがとうございます。

- ・ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- ・この取扱説明書の記載内容を守って製品をお使いください。
- ・この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。
- ・保証書は必ずお受け取りになり大切に保管してください。

本書に記載しているイラストはイメージ図です。



2015年11月版

安全上のご注意



安全のために

- § ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- § ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- § 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、『警告』『注意』の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

図記号の例

 必ず守る	● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図は『必ず守る事柄』を示します。
 分解禁止	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図は『分解禁止』を示します。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告



必ず守る

- 薬液の種類、用量、用法については、必ず専門の医師の指導に従うこと。

本製品の霧化原理に適さない薬液もあります。
また、症状が悪化する恐れがあります。

- 器械の操作については、医師または熟練者の指導に従うこと。

本製品は医家向けです。

- ご購入後、初めてお使いになるときや、長期間ご使用にならなかったときは洗浄・消毒を行うこと。

本製品は未消毒で出荷されます。

- 複数の人が使用する場合は、必ず使用する人ごとに消毒済みの薬液カップ、霧化室、マウスピース、マスク(小)などを使用すること。

感染する恐れがあります。

- 薬液カップは消耗部品です。薬液カップにへこみや傷、穴あきなどある場合は使用前に新しいものと交換すること。

作用水が薬液に混入し、感染や症状が悪化する恐れがあります。

- 一度使った古い薬液は廃棄し、吸入ごとに新たな薬液を使用すること。

雑菌に感染し、症状が悪化する恐れがあります。

- 洗浄・消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管すること。

消毒薬が残ったまま吸入すると症状が悪化する恐れがあります。また、乾燥が十分に行われていないと雑菌が繁殖し、感染する恐れがあります。

- 水を用いての吸入はしないこと。

症状が悪化する恐れがあります。

- エチレンオキサイドガス(EOG)滅菌しないこと。

残留、残存したエチレンオキサイドガスにより、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- 不安定な場所や、子供の手が届くところには置かないこと。
また、使用中や使用直後に傾けたり、持ち運んだり、お手入れをしないこと。

高温になった作用水や高温部に触れると、やけどをする恐れがあります。

- 洗浄・消毒・乾燥後の各部品を組み立てるときには、感染を防ぐため、薬液、霧の通る箇所に直接触れないこと。

感染する恐れがあります。

- 作用槽内には、水(水道水もしくは蒸留水)以外の液体は入れないこと。





振動子が劣化し、破損や霧化能力の低下の原因になります。




禁止

必ずお読みください

警告

 電源プラグ を抜く	<p>●本器に異常を感じられた場合は直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。 万一、故障した場合は、内部機器には触れずお買い上げの販売店までご連絡ください。</p>
	<p>●お手入れや、部品の取り付け、取り外しのときは、電源スイッチを『○』(OFF)にし、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。 感電、けがをする恐れがあります。</p>
 分解禁止	<p>●絶対に分解や改造は行わないこと。 発火、感電、けがをする恐れがあります。</p>
 水場使用禁止	<p>●本体を水につけたり、水をかけたり水洗いをしないこと。 感電、ショートのおそれがあります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。 感電のおそれがあります。</p>

注意

 必ず守る	<p>●作用水は、毎回新しいものと入れ替えること。 振動子が汚れ、霧化能力の低下の原因になります。</p>
	<p>●作用水は使用直前に入れること。 雑菌が繁殖し、感染の恐れがあります。</p>
	<p>●ファン取付軸に薬液などが付着した場合は、拭き取ること。 モーターが加熱し故障の原因になります。</p>
	<p>●電源プラグは、根元までしっかり差し込むこと。 感電、ショート、発火の恐れがあります。</p>

注意



必ず守る

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜くこと。
感電、ショート、発火の恐れがあります。
- 電源は必ず交流100V(50 - 60Hz)を使用すること。
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の恐れがあります。
- コンセントは単独で使用すること。
火災や漏電の原因になります。



電源プラグ
を抜く

- 使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。
電源プラグにほこりが附着し、電源プラグのピンの中で放電(トラッキング現象)がおこり
発火、火災の恐れがあります。



禁止

- 噴霧中に噴霧口をのぞかないこと。
多量の薬液が目に入り、目を痛める恐れがあります。
- 作用槽及び、薬液カップ内が空の状態で作動させないこと。
振動子が劣化し、破損の原因になります。
また、発熱や故障の原因になります。
- 薬液は100mL以上入れないこと。
噴霧しなくなることがあります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差しこみがゆるいときは使用しないこと。
感電、ショート、発火の恐れがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱり、ねじったり、束ねたりしないこと。
また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないこと。
発火、感電の恐れがあります。



接触禁止

- 噴霧中に霧化室や、風路カバーを外さないこと。
薬液カップから超音波による水柱がたち、手や指に触れると裂傷したり痛みを感じる
ことがあります。
回転しているファンに手や指が触れるとけがをします。

必ずお読みください

設置、保管について

注意



禁止

- 次の場所には設置及び保管しないこと。
 - ・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所
本製品は防爆構造になっておりません。
 - ・ 水のかかる場所
 - ・ ほこり、塩分、イオウ分、湿気などの多い場所
火災や感電の恐れがあります。□
 - ・ 傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所
転倒や落下などで破損し、故障する恐れがあります。□
 - ・ 直接日光の当たる場所
日光に当たっている部分が高温になり、故障する恐れがあります。

お願い

- 吸入以外の目的に使用しないでください。
- 薬液を入れたまま移動させないでください。
- 本体に強い衝撃を与えたり、落したりしないよう取り扱いには留意してください。
- 作用槽の洗浄時は、振動子を損傷させないよう注意してください。
- 電子レンジを用いての煮沸消毒は、行わないでください。
- 本体をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。

保守点検について

注意



必ず守る

- 使用前に必ず本体が正常かつ安全に動作することを確認すること。□
- 日常点検及び、保守点検(ユーザー点検)を必ず行うこと。□
- 1年に1度は専門業者による年次点検、整備を必ず行うこと。□
性能や安全性を維持できなくなります。

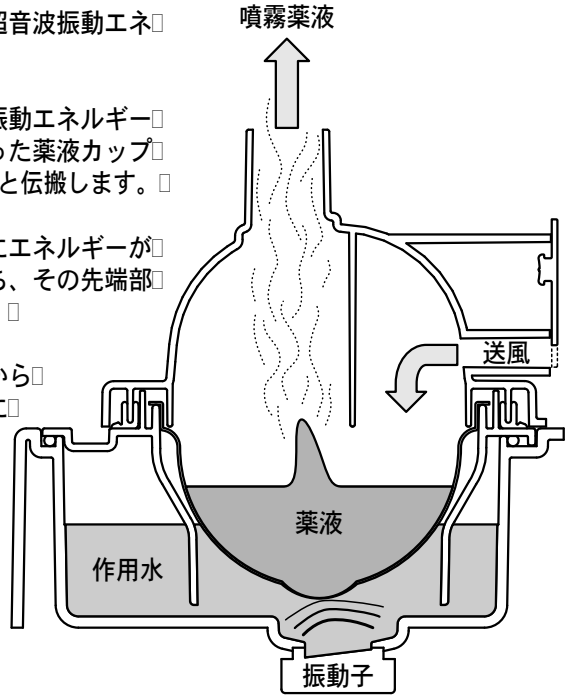
2015年11月版

製品の特長

KU-200の霧化原理について

- ① 作用槽底面にある振動子から超音波振動エネルギーを発振させます。
- ② 振動子から発振された超音波振動エネルギーは作用水を伝搬して薬液の入った薬液カップ底部、さらにその内部の薬液へと伝搬します。
- ③ 薬液カップ内の薬液は、液面にエネルギーが集中することにより液柱が立ち、その先端部から霧状になって飛散します。
- ④ 霧化された薬液は送風ファンから送られてきた風とともに外部に噴霧されます。

※霧化：薬液が霧状になること。
※噴霧：霧状になった薬液が外部へ噴出されること。



製品の特長

① コンパクト

外形寸法：幅約260×奥行き約145×高さ約170mm (突起物除く)

② 軽量

本体重量：約2.5kg

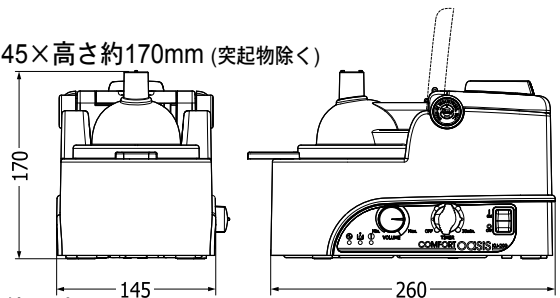
③ 高効率(少量霧化キャップセット使用時)

薬液残量：1 - 2mL (生理食塩水噴霧時。薬液の種類などにより変化します。)

少量霧化キャップセットに2種類のカップを用意しました。

カップ(大)では20mL以下の薬液を

カップ(小)では 5mL以下といった少量の薬液を効率よく霧化します。



2015年11月版

製品の構成

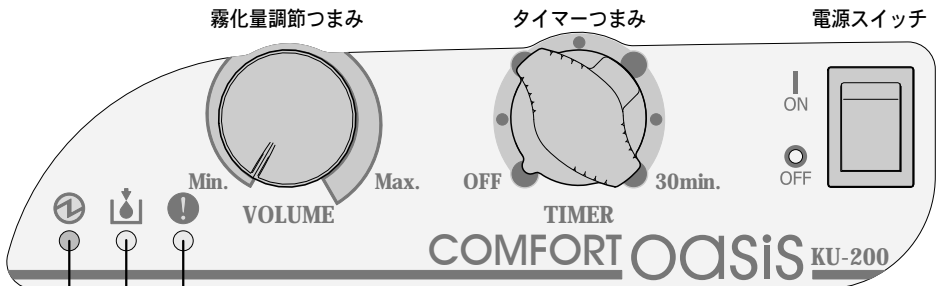
標準付属品



- 取扱説明書・・・・・・・・・・1部(本書)
- 添付文書・・・・・・・・・・1部
- 保証書・・・・・・・・・・1部

別売品は、巻末の『別売品一覧』をご参照ください。

操作パネルの説明



- 温度エラー表示・・・内部電子部品の温度異常時に、黄色LEDが点灯します。
- 水位エラー表示・・・作用槽の水位低下時に、黄色LEDが点灯します。
- 電源ランプ・・・・・・通電状態の時に、緑色LEDが点灯します。

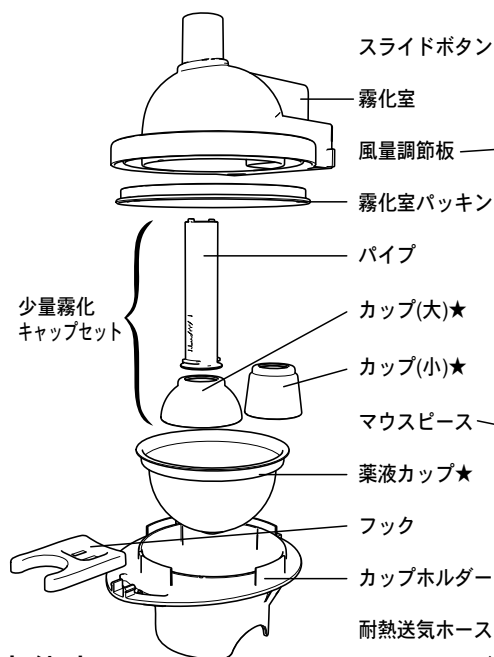
※エラー表示が点灯すると振動子の動作は停止しますが、電源ランプは点灯したまま送風ファンは動作しております。

※エラー表示の対処方法については、19ページを参照してください。

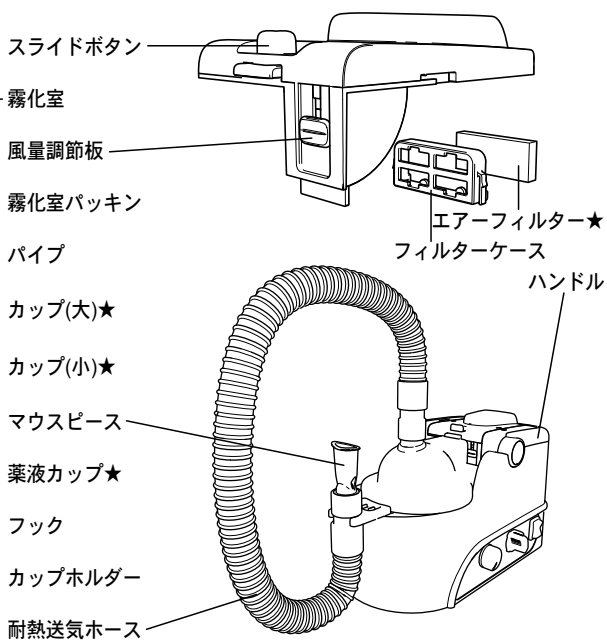
2015年11月版

各部の名称

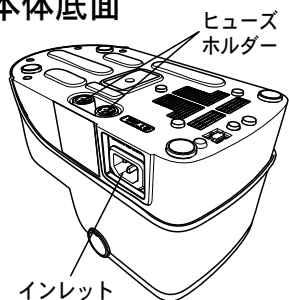
噴霧部



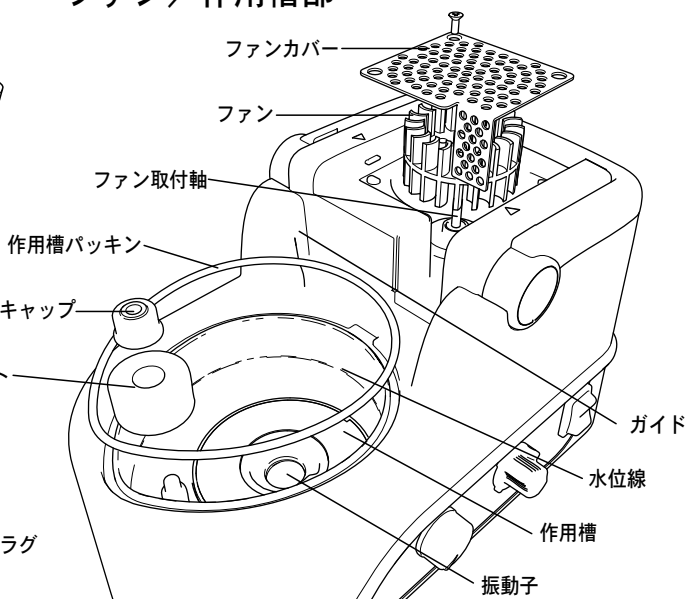
風路部



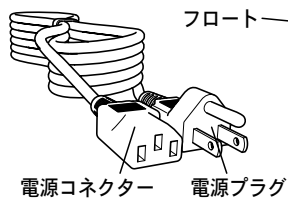
本体底面



ファン/作用槽部

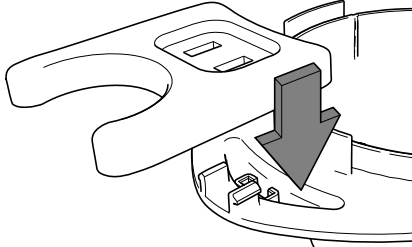


電源コード



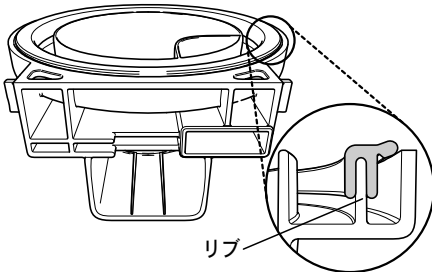
● 部品の取り付け

- フックの取り付け方
カップホルダーのツメへ、フックの穴を真上から差し込みます。

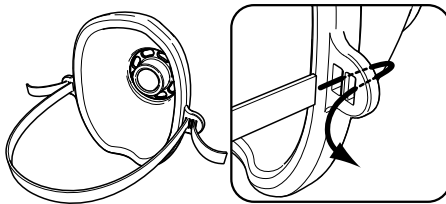


※フックはホースを仮置きするための部品です。
専用架台など別途ホース置きをご用意されている場合などにおいては、取り付けの必要はありません。

- 霧化室パッキンの取り付け方□
図のように霧化室内側のリブを挟み込むように、□霧化室パッキンを全周均等に確実に取り付けます。



- ゴム紐の取り付け方□
マスク(小)は図のようにゴム紐を通してご使用ください。



⚠ 警告

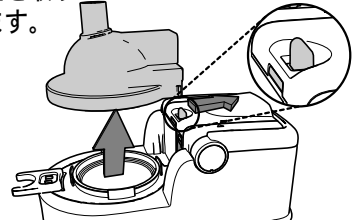


必ず守る

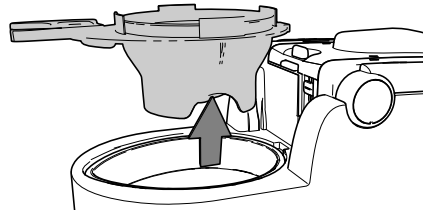
- ご購入後、初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは洗浄・消毒を行うこと。
本製品は未消毒で出荷されます。

1 作用水を入れる

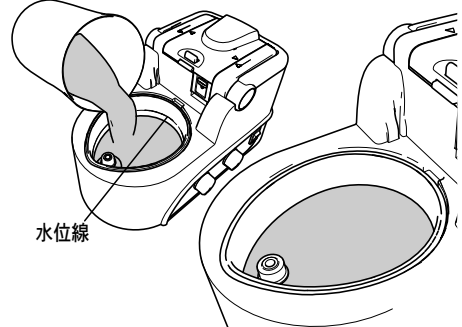
- 1) スライドボタンを後方にスライドさせ、霧化室を取り外します。



- 2) カップホルダーを取り外します。



- 3) 作用水を入れます。
作用水は作用槽内の水位線まで入れてください。
作用水は約200mL入ります。



- ※作用水が水位線より下がると『水位低下表示』の黄色LEDが点灯し、エラーとなります。
- ※作用水の水温が低い(約10℃以下)場合、霧化しないことがあります。(推奨水温は約26℃です)
- ※作用水は、毎回新しいものと入れ替えてください。

⚠ 警告



禁止

- 作用槽内には、水(水道水もしくは蒸留水)以外の液体は入れないこと。
振動子が劣化し、破損や霧化能力の低下の原因になります。

2 薬液を入れ、噴霧部を取り付ける

- 1) カップホルダーを水平で安定した場所に置き、薬液カップを取り付けます。

薬液カップに破損や変形、
破れ等がないことを
確認してください。



- 2) 薬液カップに薬液
を入れます。

薬液は最大100mL入ります。

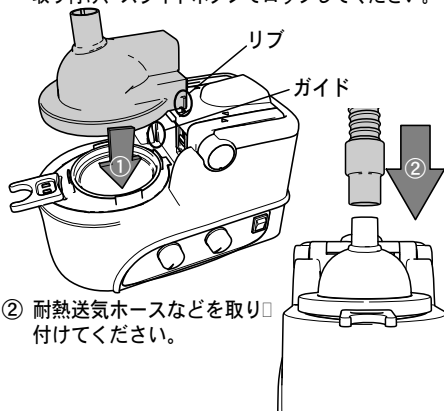


- 3) カップホルダーを
本体へ取り付けます。



- 4) 霧化室を取り付けます。
少量霧化キャップセットをご利用になる場合は、
右記『少量霧化キャップセットの使い方』の通り
霧化室へ取り付けてください。

- ① 霧化室のリップを本体のガイドに合わせ真上から
取り付け、スライドボタンでロックしてください。



- ② 耐熱送気ホースなどを取り
付けてください。

警告

●薬液カップは消耗部品です。薬液カップ
にへこみや傷、穴あきなどある場合は
使用前に新しいものと交換すること。
作用水が薬液に混入し、感染や症状が悪化
する恐れがあります。



必ず守る

少量霧化キャップセットの使い方

※少量霧化キャップセットをご利用になると、薬液
の残液を少なく効率の良い吸入が行えます。

※少量の薬液

カップ(大)：20mL以下

カップ(小)：5mL以下

の場合、少量霧化キャップセットをご利用になれ
ます。

※上記指定量以上の薬液を入れて使用すると、霧化
ができない、またはカップを破損させる場合があ
ります。

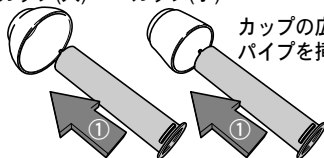
※少量霧化キャップセットをご利用の場合におい
ても、全ての薬液を霧化することはできません。
薬液の種類によりますが、多少の薬液は残ります。
(生理食塩水の噴霧時で約1-2mLは残ります。)

※少量霧化キャップセットをご利用の場合は、霧化
量調節を中間以下でご使用ください。

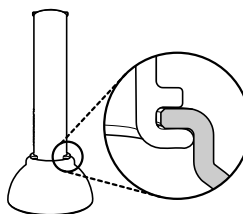
- 1) カップにパイプを取り付けます。

カップ(大)

カップ(小)

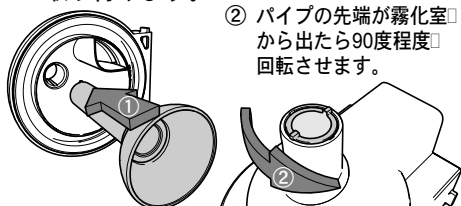


カップの広口側から
パイプを挿入します。



図のようにカップを
挟み込むように
取り付けください。

- 2) 少量霧化キャップセットを霧化室に
取り付けます。

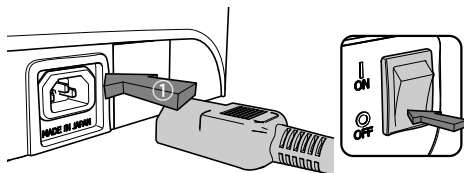


- ② パイプの先端が霧化室
から出たら90度程度
回転させます。

- ① 霧化室の切り欠きに
合わせて、少量霧化
キャップセットを挿
入します。

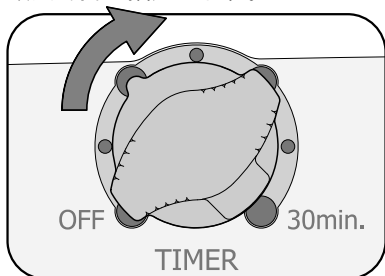
1 電源の接続と吸入時間の設定

- 1) 本体の電源スイッチが『○』(OFF)になっていることを確認し、電源コードを接続してください。



- ① 電源コネクターを本体のインレットへ差し込みます。
- ② 電源プラグをコンセントへ差し込みます。

- 2) タイマーつまみを時計回りに回して、吸入時間を設定します。



※タイマーはゼンマイ式です。

- ・時間の誤差があります。時間は目安としてご使用ください。
- ・10分以下など短時間の設定を行う場合は、20分以上回し戻して合わせてください。
- ・電源スイッチと連動していません。中断しても設定時間は減少していません。

警告

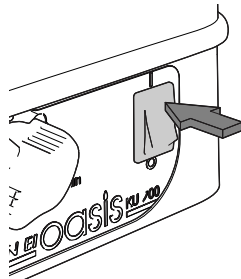


- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。

感電の恐れがあります。

2 噴霧開始

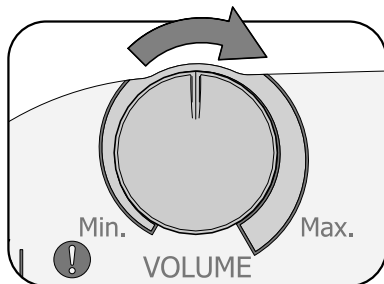
- 1) 本体の電源スイッチを『|』(ON)にし、噴霧を開始します。



電源ランプ(緑色LED)が点灯します。同時にファンが回転し、噴霧が開始します。

●霧化量の調節方法

霧化量調節つまみを回して、霧化量を調整します。



※少量霧化キャップセットをご利用の場合は、霧化量調節を中間以下でご使用ください。

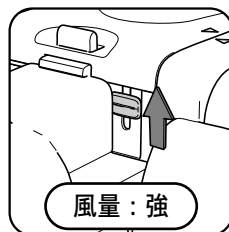
※薬液の種類によっては、噴霧にムラが生じる場合があります。

使用する薬液を一度、噴霧させて確認してください。

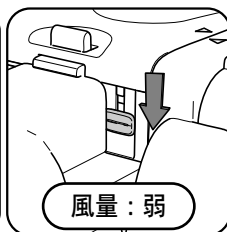
※粘度の高い薬液は霧化能力が低下する場合があります。

●風量の調節方法

風量調節板を上下させることで風量を調整します。上へ上げると風量が強くなり、下げると風路が遮断され、風量が弱くなります。



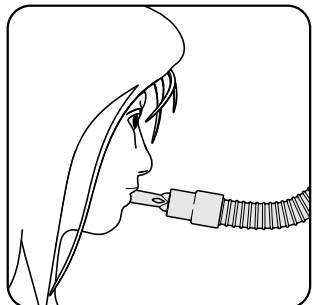
風量：強



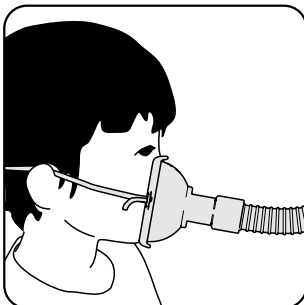
風量：弱

3 吸入開始

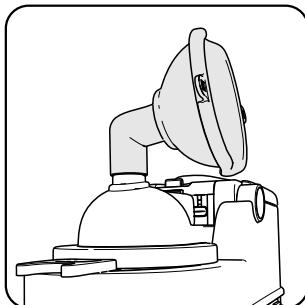
<使用例：正しい吸入方法>



マウスピースでの吸入

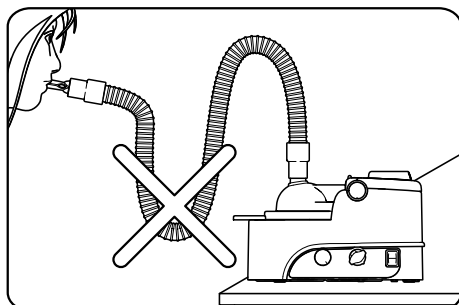


マスク(小)での吸入

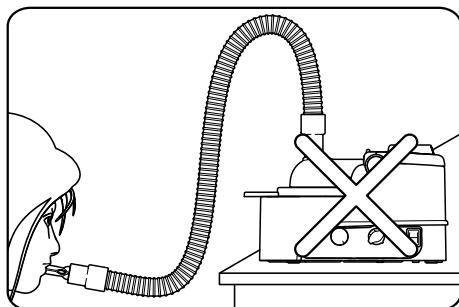


L形ジョイント使用例

<使用例：誤った吸入方法>



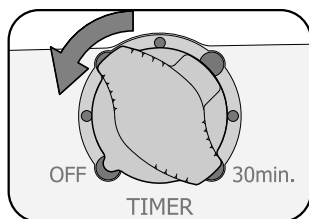
※ホースが折れ曲がっています。
薬液がホースにたまり、霧化量が低下することがあります。



※頭より高い位置に本体が置いてあります。
薬液がたれて、衣服などを汚すことがあります。

4 吸入終了

- 1) タイマーつまみが『OFF』の位置に来ると、運転が停止します。

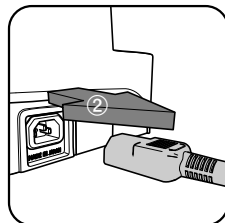
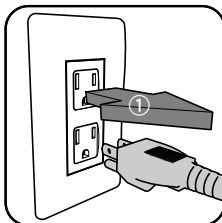


- 2) 本体の電源スイッチを『○』(OFF)にします。



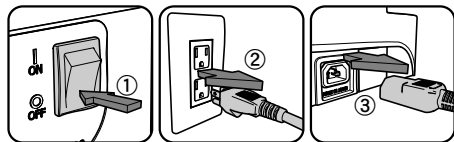
タイマー動作中に中断したいときも電源スイッチを『○』(OFF)にする事で、運転が停止します。
再び吸入を開始するときは電源スイッチを『|』(ON)にします。

- 3) 電源を切り離します。

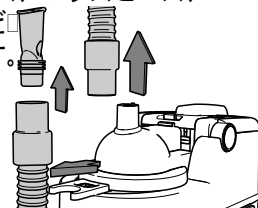


1 作用水の排水

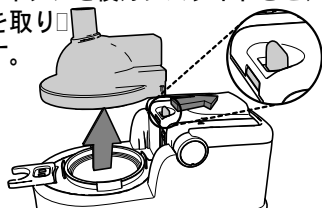
- 1) 電源コードが接続されている場合は、本体の電源スイッチを『○』(OFF)にし、電源コードを抜いてください。



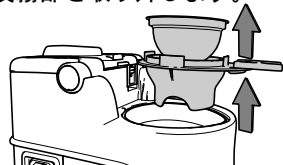
- 2) 耐熱送気ホース、マウスピース、マスク(小)などを取り外します。



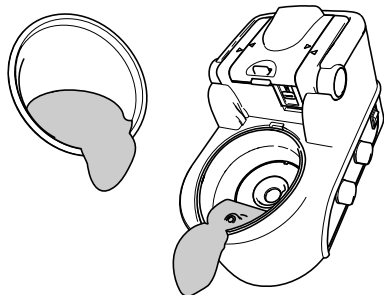
- 3) スライドボタンを後方にスライドさせ、霧化室を取り外します。



- 4) 噴霧部を取り外します。



- 5) 残った薬液、作用水を捨てます。



2 本体及び各部品の洗浄

- 1) フロートの取り外し
フロートは取り外して清掃ができます。



- 作用槽内の洗浄□
水か消毒用アルコールで湿らせて、軽くしぼった柔らかい布で拭き洗浄を行ってください。
残った水滴は清潔によく乾いた布などできれいに拭き取ってください。
- ※振動子の表面に洗剤を付けしないでください。□
- ※作用槽の洗浄時は、振動子を損傷させないように注意してください。□
- ※洗浄に50℃以上のお湯を使用しないでください。

- 本体の洗浄
本体の外装(プラスチック部分)は、水か消毒用アルコールで湿らせて、軽くしぼった柔らかい布で拭き洗浄を行ってください。
汚れがひどい場合は、水で湿らせた布に中性洗剤の水溶液を軽く付け、拭き洗浄を行い、清潔によく乾いた布などで拭き取ってください。
- ※本体外装部は水洗いしないでください。
- ※本体をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。

- 各部品の洗浄、消毒
霧化室、カップホルダー、薬液カップ、□
マスク(小)、マウスピース、耐熱送気ホース、□
L形ジョイント、少量霧化キャップセット、など□
は水洗いもしくは中性洗剤の水溶液で洗浄してください。
洗浄後は消毒を行い、すみやかに乾燥させてください。
- ※洗浄に50℃以上のお湯を使用しないでください。
- ※消毒方法は15から18ページを参照してください。

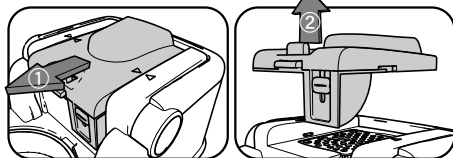
警告



- 洗浄・消毒・乾燥後の各部品を組み立てるときには、感染を防ぐため、薬液、霧の通る箇所直接接触れないこと。
感染する恐れがあります。

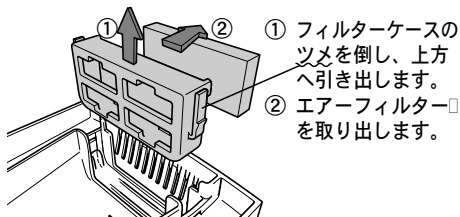
エアフィルターの洗浄・交換

- 1) 風路部を取り外します。
霧化室を取り外してから行ってください。



- ① 風路部と本体の△マークが合う位置まで風路部を前方へスライドさせます。
- ② 風路部を上方へ取り外します。

- 2) エアフィルターを取り出します。



- ① フィルターケースのツメを倒し、上方へ引き出します。
- ② エアフィルターを取り出します。

● エアフィルターの洗浄

中性洗剤の水溶液で洗浄してください。
洗浄後は水洗いを行い、よく乾燥させてください。
また、表面の汚れが取れなくなったときは交換時期です。新しいエアフィルターと交換してください。

※洗浄後はよく乾燥させてください。

※交換の目安：6ヶ月

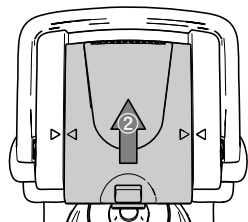
● フィルターケースの洗浄

水洗いもしくは中性洗剤の水溶液で洗浄してください。
洗浄後は消毒を行い、すみやかに乾燥させてください。

※消毒方法は15から18ページを参照してください。

- 3) 風路部を取り付けます。

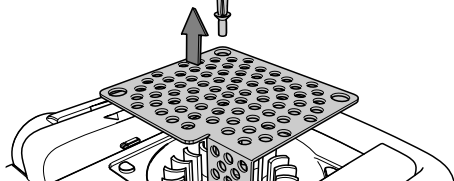
エアフィルターをフィルターケースに収め、風路部へ取り付けてください。



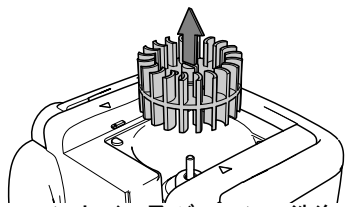
- ① 本体との△マークを合わせ本体に載せます。
- ② 風路部を後方へスライドさせ、本体へ固定します。

ファンの洗浄

- 1) ファンカバーを取り外します。
プラスドライバーで皿ネジを外してください。



- 2) ファンを取り外します。



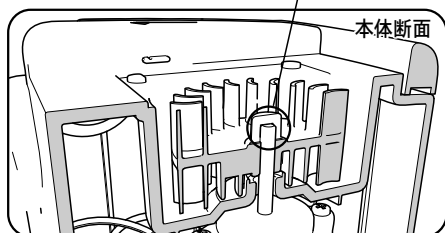
● ファンカバー及びファンの洗浄

水洗いまたは中性洗剤の水溶液で洗浄してください。
洗浄後は消毒を行い、すみやかに乾燥させてください。

※消毒方法は15から18ページを参照してください。

※ファン取付軸に薬液などが付着している場合は、乾いた布などで取り除いてください。

- 3) ファン及びファンカバーを取り付けます。
ファンはファン取付軸に最後までしっかりと取り付けてください。



警告



電源プラグを抜く

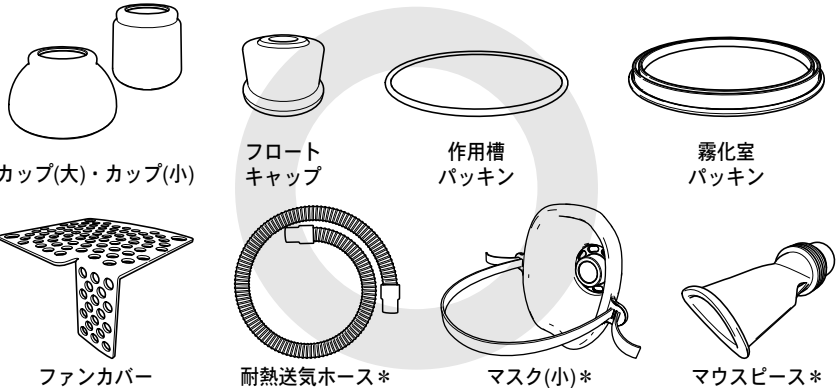
● お手入れや、部品の取り付け、取り外しのときは、電源スイッチを『○』(OFF)にし、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。感電、けがをする恐れがあります。

煮沸消毒及び、オートクレーブ滅菌について

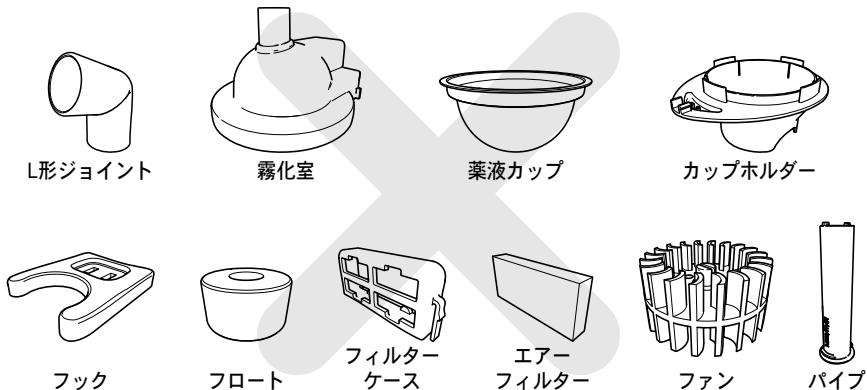
下図に示した部品以外は煮沸消毒及びオートクレーブ滅菌を行わないでください。
 部品が変形または破損する恐れがあります。
 オートクレーブ滅菌を行うときは、滅菌器の添付文書及び取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
 詳細は滅菌器メーカーへご相談ください。

煮沸消毒及び、オートクレーブ滅菌できる部品

*の付いた部品のオートクレーブ滅菌耐久回数は30回です。



煮沸消毒及び、オートクレーブ滅菌できない部品



警告



●洗浄・消毒・乾燥後の各部品を組み立てるときには、感染を防ぐため、薬液・霧の通る箇所に直接触れないこと。
 感染する恐れがあります。

警告



●本体を水につけたり、水をかけたり水洗いをしないこと。
 感電、ショートの恐れがあります。

煮沸消毒のしかた

- 1) 煮沸消毒できる部品を容器(厚手の鍋など)に入れます。
部品はそれぞれ分解された状態に入れてください。
- 2) 容器の中の部品が完全にかかるまで水を入れ沸騰させます。
- 3) 沸騰したらそのまま15分以上煮沸します。
- 4) 部品を取り出し、すみやかに乾燥させます。



オートクレーブ滅菌のしかた

- 1) オートクレーブ滅菌できる部品を滅菌バッグなどに入れます。
部品はそれぞれ分解された状態に入れてください。
また、熱による変形を防ぐため、滅菌器内部の金属部及び同時にオートクレーブ滅菌する他の部品にぶつかり合わないように入れてください。
- 2) 滅菌器の添付文書及び取扱説明書に従い、滅菌を開始します。

滅菌器設定条件例	
温度	時間
115℃	30分
121℃	20分

※設定温度は121℃を超えないよう注意してください。

- 3) 部品を取り出し、すみやかに乾燥させます。
※滅菌終了後の冷却は常温で行ってください。

薬液消毒について

消毒薬によって使用できる部品の材質及び、消毒の対象となる菌が異なります。次ページ記載の部品名と材質名を参考に、各材質にあった消毒薬をご使用ください。各種消毒薬の取り扱いについては、消毒薬付属の添付文書もしくは取扱説明書に従ってください。下記に使用できる代表的な消毒薬と、適用できる部品材質の関係を記載します。

成分(一般名)	製品例	※6 材質										
		ABS	PC	PP	PE	PA	POM	PET	TPE	SI	NBR	SUS
エタノール	消毒用エタノール	※5 △	△	○	○	※5 △	○	○	※5 △	○	×	※2 △
次亜塩素酸ナトリウム	ミルトン	○	○	○	○	△	×	○	○	○	×	×
グルコン酸クロルヘキシジン	※1,3,4 ヒビテン	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塩化ベンザルコニウム	※4 オスバン	○	△	○	○	○	○	○	○	△	△	※2 ×
塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	※1,4 テゴ-51	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	※2 △

○：影響なし △：若干の影響あり ×：影響あり

- ◆ 消毒の前に必ず洗浄を行ってください。
- ◆ 消毒薬の希釈濃度及び浸漬時間は、各種消毒薬の添付文書に従い用法、用量を守り正しくお使いください。高濃度、もしくは必要以上に長時間の浸漬消毒は部品を劣化させる原因になります。
- ※1 着色された消毒薬(ヒビテンなど)を使用すると、部品により経年にて多少変色することがありますが、物性上問題はありません。
- ※2 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、各種消毒薬の添付文書記載の割合で亜硫酸ナトリウムを添加し、浸漬してください。
- ※3 グルコン酸クロルヘキシジンにエタノールを添加した製品もありますが、ここで記載している内容はエタノールを添加していない製品での例です。
- ※4 消毒薬の希釈には新鮮で品質の良い蒸留水や滅菌精製水を用いることを推奨します。常水(水道水, pH5.8 - 8.6)を用いた希釈ではpHの影響を受けて、消毒薬が活性化しないことがあるので注意してください。
- ※5 長時間の浸漬消毒時に影響を受けることがあります。清拭消毒での使用においては問題ありません。
- ※6 ポリカーボネート製部品の洗浄は必ず中性洗剤の水溶液で行ってください。アルカリ性洗剤(例えば食器洗浄機用洗剤など)を用いますと、その濃度や温度の影響を受けながら加水分解が進み、ヒビ割れやクラックなどが生じる恐れがあります。

⚠ 警告

必ず守る

● 洗浄・消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管すること。
消毒薬が残ったまま吸入すると症状が悪化する恐れがあります。また、乾燥が十分に行われていないと雑菌が繁殖し、感染する恐れがあります。

⚠ 警告

禁止

● 洗浄・消毒・乾燥後の各部品を組み立てるときには、感染を防ぐため、薬液、霧の通る箇所には直接触れないこと。
感染する恐れがあります。

部品名と材質名

材質は略称で記載しております。

ABS(アクリロニトリルブタジエンスチレン共重合体)、PC(ポリカーボネート)、PP(ポリプロピレン)、PE(ポリエチレン)

PA(ポリアミド)、POM(ポリアセタール)、PET(ポリエチレンテレフタレート)、PVC(ポリ塩化ビニル)

SI(シリコーンゴム)、NBR(ニトリルゴム)、TPE(エラストマー)、SUS(ステンレス鋼)

本体外装		ABS	風路部外装		ABS		
							
霧化室	PC	カップホルダー	ABS	薬液カップ	PP	フック	PP
							
マウスピース	PP	マスク(小)	TPE	耐熱送気ホース	TPE	L形ジョイント	PP
							
フロート	NBR	フロートキャップ	SI	パッキン	SI	フィルターケース	PP
				作用槽パッキン  霧化室パッキン 		 エアフィルター(PET) 	
ファン	PP	ファンカバー	SUS	カップ(大)/小	SI	パイプ	PP
				 			

確認チェックリスト

修理をご依頼される前に、以下の事項を見直してください。

現象	チェック項目	処置方法	参照
電源ランプが点灯しない (通電しない)	電源プラグがコンセントに、電源コネクタが本体のインレットに正しく差し込まれていますか？	電源コードを正しく差し込んでください。	P11
	タイマーつまみを回して、吸入時間を設定しましたか？	タイマーが0分(OFF)の状態では、電源スイッチを『 』(ON)にしても電源ランプは点灯しません。 一度、電源スイッチを『○』(OFF)にしてから吸入時間を設定し、電源スイッチを『 』(ON)にしてください。	P11
	電源コードが断線、または接触不良をおこしていませんか？	新しい電源コードに交換してください。	P26
	ヒューズは切れていませんか？	新しいヒューズに交換してください。	P21
水位エラー表示が点灯する	作用水が不足していませんか？	作用槽内の水位線まで水を入れてください。	P9
	フロート及び、フロートキャップは正しく取り付けられていますか？	フロート及び、フロートキャップを正しく取り付けてください。また、フロートには取り付け方向があります。 リングが下側になるように取り付けてください。	P13
温度エラー表示が点灯する	連続して使用し、作用水が熱くなっていませんか？	内部電子部品の温度異常です。 新しい作用水に交換し、30分程度おいてからご使用ください。	-

※上記点検及び処置を行った場合においても正常に動作しない場合は、内部機器には触れずお買い上げの販売店までお問い合わせください。

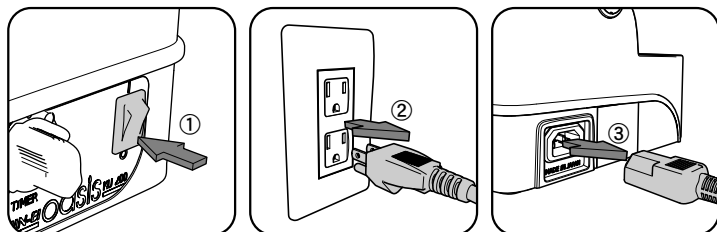
現象	チェック項目	処置方法	参照
噴霧しない または 噴霧量が少ない	薬液の量が少なすぎませんか？	薬液の量を5mL以上に増やしてください。 また20mL以下でのご使用の場合は 少量霧化キャップセットをご利用ください。	P10
	薬液の量が多すぎませんか？	薬液の量を100mL以下に減らしてください。 また少量霧化キャップセットをご利用の場合は、 カップ(大)は20mL以下、カップ(小)は5mL以下 に減らしてください。	P10
	霧化量調節つまみの設定値が 低くなっていませんか？	霧化量調節つまみを時計回りに回して、霧化量 を調節してください。	P11
	風量調節板が閉じています か？	風量調節板を上方向に上げ、風路を開放してく ださい。	P11
	薬液カップが変形または破損 していませんか？	新しい薬液カップに交換してください。	P26
	薬液カップが汚れていません か？	汚れがひどい場合は、中性洗剤の水溶液で洗浄 してください。その後、流水で洗剤を十分に洗 い流し、消毒後ご使用ください。	P13
	室温または水温が低くありま せか？	薬液カップを取り外した状態で3 - 5分程度暖気 運転を行ってからご使用ください。 作用水の推奨温度は約26℃です。	P9
噴霧が不安定	薬液量にあった霧化量調節に なっていますか？	薬液量が多い場合は、霧化量調節を中間以上で ご使用ください。 また少量霧化キャップセットをご利用の場合は、 霧化量調節を中間以下でご使用ください。	P10

※上記点検及び処置を行った場合においても正常に動作しない場合は、内部機器には触れずお買い上げの販売店までお問い合わせください。

2015年11月版 ヒューズの交換方法

ヒューズの交換方法

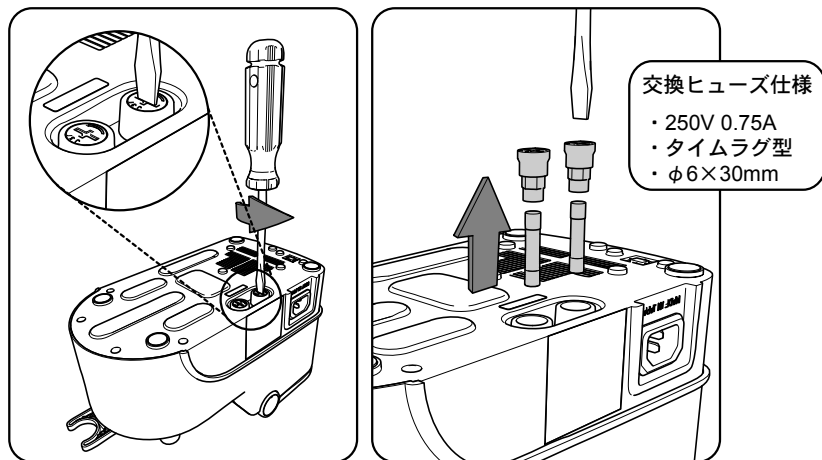
- 1) 電源コードが接続されている場合は、本体の電源スイッチを『○』(OFF)にし、電源コードを抜いてください。



- 2) ヒューズホルダーのつまみをプラスまたはマイナスドライバーで回し、ヒューズを取り出します。

※ヒューズの交換は、薬液及び作用水を排水してから行ってください。

※交換時は、ヒューズが高温になっている場合がありますので注意してください。



- 3) ヒューズを交換し、逆の手順で組み立ててください。

※ヒューズは必ず、当社指定品を使用してください。

※ヒューズ交換後もすぐにヒューズが切れてしまう場合は、内部機器には触れずにお買い上げの販売店までお問い合わせください。

警告



- お手入れや、部品の取り付け、取り外しのときは、電源スイッチを『○』(OFF)にし、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。感電、けがをする恐れがあります。

記号について

記号	名称	備考
	電源入	電源への接続またはその状態を示す。
	電源切	電源からの切離しまたはその状態を示す。
	交流	本製品の電源電圧は交流100Vです。
	保護接地	保護接地端子を示す。
	無段階調節	無段階に増減できる調節を示す。
	B形装着部	電撃に対する保護の程度が、B形装着部であることを示す。
	注意、警告 付属文書参照	操作前に関連する付属文書を参照する必要があることを示す。
	EMC適合	本製品はEMC規格『JIS T0601-1-2:2002』に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において相互に影響を生じる場合があります。取扱説明書に従って正しい設置、取り扱いをしてください。

廃棄について

ご不要となった本体や付属品、別売品の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

環境汚染の原因になります。

2015年11月版 点検チェックリスト

日常点検チェックリスト

日常点検は機器ご使用前に必ず実施してください。

#	点検項目	点検内容	処置方法	参照
1	エアフィルター	変色、目詰まりなどが無いこと。 正しく取り付けられていること。	汚れがある場合は洗浄してください。 正しく取り付けてください。	P14
2	作用槽	水垢の付着などが無いこと。 フロートは円滑に動くこと。 作用槽パッキンが正しく取り付けられていること。	汚れがある場合は洗浄してください。 フロートを正しく取り付けてください。	P13 P14 P26 背表紙
3	振動子	振動子表面に汚れや、損傷などの無いこと。	汚れがある場合は洗浄してください。 振動子の表面に著しい傷など損傷している場合は、内部機器には触れずにお買い上げの販売店にご連絡ください。	
4	薬液カップ	薬液の付着などが無いこと。 変形や損傷など外観に異常が無いこと。	汚れがある場合は洗浄してください。 変形や損傷など破損している場合は、交換してください。	
5	霧化室	薬液の付着などが無いこと。 霧化室パッキンが正しく取り付けられていること。	汚れがある場合は洗浄してください。 紛失した場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。	
6	耐熱送気ホース	薬液の付着などが無いこと。 折れやヒビ割れなどが無いこと。	汚れがある場合は洗浄してください。 ヒビ割れなど破損している場合は、交換してください。 滅菌耐久回数は30回(121℃)です。	
7	マスク(小)	薬液の付着などが無いこと。 変形や損傷など外観に異常が無いこと。	汚れがある場合は洗浄してください。 変形や損傷など破損している場合は、交換してください。 滅菌耐久回数は30回(121℃)です。	
8	マウスピース	薬液の付着などが無いこと。 変形や損傷など外観に異常が無いこと。	汚れがある場合は洗浄してください。 変形や損傷など破損している場合は、交換してください。	
9	電源コード	電源コードの断線、またはプラグやコネクタに変形や損傷などが無いこと。	断線など破損している場合は、交換してください。	
10	操作パネル	ツマミなどに緩みが無いこと。	動作に異常がある場合は、機器内部の故障が考えられます。 内部機器には触れずにお買い上げの販売店にご連絡ください。	
11	電源スイッチ	電源スイッチの『ON』『OFF』動作に異常の無いこと。 電源ランプが点灯すること。	背表紙	
12	ファンモーター	動作状態において、異音が無いこと。		

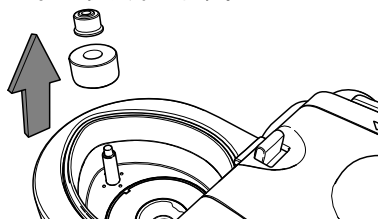
保守点検(ユーザー点検)チェックリスト

保守点検は使用者が行う点検です。3ヶ月に1度実施してください。

#	点検項目	点検内容	処置方法	参照
1	ファン取付軸	薬液の付着などが無いこと。 ファンが円滑に回転すること。	ファンを取り外し、ファン取付軸に付着した汚れを乾いた布で取り除いてください。	P14
2	霧化室パッキン 作用槽パッキン	変形、ヒビ割れ、劣化などが無いこと。	ヒビ割れなど破損している場合は、交換してください。	P26
3	霧化室	傷、ヒビ割れなどが無いこと。	ヒビ割れなど破損している場合は、交換してください。	
4	少量霧化キャップ セット	薬液の付着などが無いこと。 変形、劣化などが無いこと。	汚れがある場合は洗浄してください。 変形など破損している場合は、交換してください。	
5	水位エラー	フロートを取り外した状態で動作確認をしてください。(下記参照) 水位エラー表示が点灯し、霧化動作しないこと。	水位エラー表示が点灯しないなど、動作に異常がある場合は、機器内部の故障が考えられます。 内部機器には触れずお買い上げの販売店にご連絡ください。	P19
6	ボリューム	動作状態において、ボリュームの強弱に伴い、噴霧状態が変化すること。	動作に異常がある場合は、内部機器の故障が考えられます。 内部機器には触れずお買い上げの販売店にご連絡ください。	背表紙

水位エラー表示点検

- 1) フロートを取り外します。

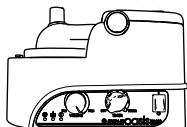


- 2) 水位エラー表示の確認

誤動作時の振動子破損防止として作用槽に作用水、薬液カップにはテスト用として精製水などを入れて電源を投入してください。

正常であれば水位エラー表示が点灯し、噴霧は開始されません。

確認終了後は電源を切りフロートを元に戻してください。



警告



電源プラグを抜く

●お手入れや、部品の取り付け、取り外しのときは、電源スイッチを『○』(OFF)にし、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。感電、けがをする恐れがあります。

2015年11月版 仕様

仕様

製造販売届出番号	11B1X00009000002
類別	機械器具 76 医療用吸入器
一般的名称	超音波ネブライザ
医療機器分類	一般医療機器

販売名	超音波ネブライザー COMFORT oasis
型式	KU-200
電源	交流100V 50 - 60Hz
消費電力	51VA/46VA (50Hz/60Hz)
動作モード	間欠動作 (30分ON/30分OFF)
電撃に対する保護の形式	クラス I 機器
電撃に対する保護の程度	B形装着部
ヒューズ定格	250V 0.75A (タイムラグ型)
超音波発振周波数	約1.7MHz
最大噴霧量	約3.5mL/分 ^{*1}
噴霧粒子径	1 - 5 μ m ^{*1}
最大送風量	18L/分
薬液カップ容量	最大100mL
作用水容量	約200mL
使用環境温湿度	+10 から +40°C 30 から 75%RH (ただし結露なきこと)
保管環境温湿度	-10 から +60°C 10 から 75%RH (ただし結露なきこと)
本体質量	約2.5kg(本体のみ)
外形寸法	幅約260×奥行約145×高さ約170mm (突起部除く)
安全装置	サーモスタット、水位センサー、ファンカバー
付属品	少量霧化キャップセット(パイプ、カップ(大)、カップ(小))、耐熱送気ホース、フック 薬液カップ(本体装着済み(1個)、交換用予備(1個))、マスク(小)、L形ジョイント マウスピース、電源コード、2P変換プラグ、ヒューズ(予備(2本))、取扱説明書(本書) 添付文書、保証書、ユーザー登録カード
製造販売元	株式会社興伸工業

*1：常温(23°C、65%RH)の場合、生理食塩水噴霧時、薬液の種類などにより変化します。□

※お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

□

可燃性ガス雰囲気での使用：適さない

2015年11月版 別売品一覧

別売品一覧

記載項目は左上から、品名・材質・発注番号・梱包単位です。
材質は略称で記載しております。(略称はP18を参照してください)

薬液カップ 140030121	PP 5個	耐熱送気ホース 140030122	TPE 1本	マウスピース 200191182	PP 5個	マスク(小) 140030123	TPE 1個
		100cm 					
カップ(大) 140030124	SI 5個	カップ(小) 140030125	SI 5個	エアフィルター 140030126	PET 5個	L形ジョイント 140030127	PP 5本
							
作用槽パッキン 140030128	SI 5個	霧化室パッキン 140030129	SI 5個	霧化室 140030130	PC 1個	カップホルダー 140030131	ABS 1個
				霧化室パッキン付 		フック付 	
ネブライザーマスク(大) 400010041	PVC 1個	ネブライザーマスク(小) 400010040	PVC 1本	トラキアマスク(大) 400010086	PVC 1個	トラキアマスク(小) 400010087	PVC 1個
 単回使用		 単回使用		 単回使用		 単回使用	
ポリ蛇管 810021214	PE 1本	ヒューズ 140030132	- 2本	電源コード 140030133	- 1本	専用架台 140030134	SUS -
 単回使用		250V、0.75A タイムラグ型 φ6×30mm 				NO IMAGE	

知っておいていただきたいこと

2015年11月版



最適な提案で医療福祉社会に貢献する

新鋭工業株式会社

営業所

本社	〒362-0055	埼玉県上尾市平方領領家308-2	TEL 048-725-1786	FAX 048-725-7550
東京支店	〒113-0033	東京都文京区本郷3-12-5	TEL 03-3816-0444	FAX 03-3816-0406
大阪支店	〒541-0042	大阪府大阪市中央区今橋1-6-1	TEL 06-6228-3311	FAX 06-6228-3321
札幌支店	〒060-0907	北海道札幌市東区北七条東4-28-3	TEL 011-741-7752	FAX 011-753-2703
仙台支店	〒984-0042	宮城県仙台市若林区大和町4-9-12	TEL 022-782-4661	FAX 022-782-4662
新潟支店	〒951-8136	新潟県新潟市中央区関屋田町1-1	TEL 025-233-0592	FAX 025-233-0573
長野支店	〒390-0835	長野県松本市高宮東5-13	TEL 0263-24-2840	FAX 0263-27-3152
名古屋支店	〒466-0023	愛知県名古屋市中区石仏町2-1-40	TEL 052-859-1333	FAX 052-859-1334
山陰支店	〒683-0001	鳥取県米子市皆生温泉2-20-27	TEL 0859-34-5675	FAX 0859-34-5708
岡山支店	〒700-0982	岡山県岡山市北区中島田町1-7-8	TEL 086-235-0323	FAX 086-235-0324
広島支店	〒733-0822	広島県広島市西区庚午中4-10-36	TEL 082-275-0740	FAX 082-275-0760

(株)新鋭工業福岡

本社	〒813-0034	福岡県福岡市東区多の津5-11-25	TEL 092-622-0055	FAX 092-622-0052
沖縄支店	〒901-2103	沖縄県浦添市仲間1-19-6	TEL 098-876-4262	FAX 098-876-6097



製造販売元 株式会社 興伸工業

医療機器製造販売業許可番号 11B1X00009

* 製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

* 取説番号0620-9